

2011年を核兵器禁止の「元年」に!

まもなくビキニ水爆被災から57年

核兵器の全面禁止、非核平和の日本へ

新しい署名運動がスタート

いま、原水爆禁止運動と国際政治の長年の努力によって核兵器のない世界が現実的目標となつていきます。

世界189カ国が参加して昨年5月にニューヨークの国連本部で開かれた核不拡散条約(NPT)再検討会議は、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを目標として決めました。原動力となつたのは、核兵器全面禁止の行動をただちに開始するよう求めた世界の反核平和運動とそれを支持する草の根の世論です。

一筆一筆の署名が、確実に世界を動かし、変えています。この気運をさらに発展させ、2011年を核兵器全面禁止の「元年」とするために、各国政府に核兵器全面禁止条約の交渉に踏み切るよう求める「核兵器全面禁止のアピール」署名がスタートします。

原水爆禁止運動の原点

静岡・焼津で3・1ビキニデーのじぶん

今から57年前の1954年3月1日、アメリカは太平洋ビキニ環礁で広島型原爆の1000倍の威力をもつ水爆実験をおこないました。爆発によりまい上がった強い放射能をふくむ「死の灰」は、世界の広大な海域を汚染し、静岡県焼津市を母港とするマグロ漁船第五福竜丸をはじめ多数の日本漁船やマーシャル諸島の島民に大きな被害を与えました。

広島、長崎、ビキニの三度の原水爆の被害に、日本中で抗議の行動がわきおこり、「原水爆禁止」を求める署名に当時の有権者の半数にあたる3200万人が署名しました。

3・1ビキニデーは、核兵器禁止、憲法9条と非核三原則を実行する非核平和の日本の実現への決意を新たにする日です。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>